



平成29年度指定 高指第123号

田中 健次

【雅号】清雲 せいうん

生年／昭和23年 指定技術名／銅器・焼型仏具



しんしゅうぶっこうじは むじごぐそく

真宗佛光寺派無地五具足

焼型鑄造で製作される仏具製品の、生地製作から仕上げまでの一貫した技術を有する数少ない継承者である。中でも、在家から寺院用まで幅広く製作する唯一の技術者として、熟練した技による製品づくりは高い評価を得ている。磨き仕上げの本作では、生地製作から携わる作者ならではの、細部に至るまでの巧緻な技と手間を惜しまない丁寧な仕事を見ることができる。

平成25年作
素材・技法／真鍮・焼型鑄造
寸法／花立：高さ9cm

〔経歴〕

昭和47年 父田中清次郎氏に師事し、焼型四鱗仏具の製作技術を習得する。
平成22年～ 伝統工芸高岡銅器振興協同組合員
平成23年 伝統工芸士認定
平成23年～ 富山県伝統工芸士会会員
平成30年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定